

2024～2025年度クラブ目標

『思いやりがある 感謝のロータリー』

創立1986年



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘
幹事 十文字 光伸

第1821回例会

令和6年9月12日 (18:30～19:30)



○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 白河第二中学校 村上徳信様

○スマイルBOX

- 阿部克弘会長(本日は村上先生、卓話有り難うございました。そしてCKB野球大会でもお世話になりました。来年も宜しく願い致します。)
- 十文字光伸幹事(本日は村上様、卓話ありがとうございます。)
- 成井正之会員(白二中、村上徳信様卓話ありがとうございます。今週の大谷スマイルは、9/7 45号、9/9 46号、9/12 47号、47-48となりました。打点もかせぎ二冠返り咲き楽しいですね金田ノミニー、HM参加ありがとうございます。)
- 青木大会員(久しぶりに例会に参加することが出来ました。本日は、民報新聞にも掲載頂きましたが、鹿島ガーデンウイラを10月1日より仮オープンさせます。70名ぐらまでなら受け入れられます。大きな会場は年明けから徐々に受け入れて、厨房完成後の4月にグランドオープン予定です。例会利用おねがいします。)
- 石川裕子会員(村上様、本日はありがとうございました。私事ですが、娘の第二種電気工事士試験の合格記念にスマイルします。)
- 永野文雄会員(白二中の村上徳信先生、CKBで大変お世話になりました。今日は卓話ありがとうございます。)
- 大住由香里会員(村上先生、本日の卓話快諾して下さいありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)
- 居川孝男会員(職業奉仕が続き欠席がちですみません。)
- 鳴島三男会員(9月27日、結婚記念日です。お祝い、ありがとうございます。村上先生、卓話ありがとうございます。)
- 長克則会員(今日は誕生日のお祝いを頂きありがとうございました。)
- 鈴木浩一郎会員(村上先生、本日はありがとうございました。そして息子が中学校で大変お世話になっております。引き続き、ご指導宜しくお願い致します。私は入会以来、はじめて2回連続で例会出席しました。村上先生の卓話と私の出席にスマイルいたします。)

▶第1821回例会出席状況 (R6年9月12日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	71名
Ⓒ ①の出席者数	20名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	11名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	31名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	63
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	49.2%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

阿部克弘会長



皆さん、こんばんは。まず初めに本日のお客様をご紹介したいと思います。

先般、CKB中学生野球大会で大変お世話になりました白河二中の村上徳信先生です。本日は卓話をちょうだいする事になっておりますので後ほど宜しくお願いしたいと思います。

さて、明日から鹿嶋神社の提灯祭りが始まりますが6年振りの本格開催となります。会員の皆さんもお祭りに携わっている方が沢山いらっしゃると思いますが、今回私が多く耳にしたのは神輿の担ぎ手が少ない事です。私みたいな者にも探してくださいとお願いする人もおまして何とか2~3名紹介しましたが、なかなか追加までには至りませんでした。いろんな方に聞いてみますと神輿を出さない町内もあるような事を伺っております。携わっている会員さんは頑張っただければと思っております。声、大きいですか？大丈夫ですか？SAA矢田部委員長から声が大きいので少しマイクを離してとダメ出しを食らったので、少しマイクを離して話をしようと思っております。

個人事で恐縮ですが、私は動物ボランティアの他に保護司のボランティア活動をしておりますが、昨日保護司会の指導力強化研修が郡山市のユラックス熱海で開催されたので出席してまいりました。ユラックス熱海だと2530地区ロータリーの研修会の会場が多く使われている会場なので、ユラックス熱海での保護司会の研修会は私にとってはちょっと違和感がありましたが、県内から30名の保護司が集まり地域活動の概要や犯罪被害者等の政策、それから面接の仕方についての研修をしました。

私はちょっと理解できなかったところがあったのもっと勉強をしなくちゃならないなと思いました。地域活動の概要の中で担当者の方が福島県の少年犯罪の昨年度の数字を言われました。1号が60名・2号が4名・3号が35名・4号が95名で合計194名だったそうです。この1号や2号はどうゆう事かと言いますと、1号とは保護観察処分少年・2号は少年院退院者・3号は仮釈放者・4号は保護観察付執行猶予者との事です。ちなみに平成26年度は、1号が156名・2号が37名・3号は52名・4号が167名で合計が412名でした。また平成13年度は1号が611名・2号が124名・3号が89名・4号が259名で合計が1083名だったそうです。平成13年度が1083名で昨年度が194名とかなり減少しましたが、原因は少子化が一番だそうです。

あと犯罪も変化して来ており2001年当時はこの中で捕まった方はいらっしやらないと思いますが、暴走族が多かったのが理由と聞いております。でも現在ではSNS等の発達でSNS関連の顕在化している犯罪が顕著化してきた様です。その他、再犯の現状を見ると日本の犯罪の6割は再犯者だそうです。また、再犯者の再犯率ですが平成9年以降は上昇傾向だそうです。新受刑者に占める再入者の割合は50%台で推移しており、初犯者ならびに所入者が大幅に減少しているのに対し再犯者・再入者の減少は小幅に止まっているという事の様ですね。現在、福島の更生保護は13市21町15村で18保護区ありまして、私は白河保護区に在籍しています。福島県の定員は1010名に対して約940名しか保護司がいません。定数に達していないのでこの中に保護司をやりたい方がありましたら、ぜひ私まで教えてください。推薦いたします。宜しくお願いします。ちなみに現在の白河保護司会の会長は金田会員が会長をされた時に同期で白河ロータリークラブの会長だった新妻真孝さんが会長をされております。前の会長は市議会議員など歴任された三森さんが長年務められていました。

保護司になれる条件は65歳になる前までに申し込みがないとなれません。また継続は75歳までなので、私はあと7年~8年くらいしかできないのでぜひ我こそはと思う特に若い人に手を挙げていただければと思っております。

それでは以上で会長の時間を終了します。本日は宜しくお願いいたします。

■幹事報告

十文字光伸幹事

- 早川ガバナー事務所：福島東ロータリークラブ例会場変更のお知らせ
- 米山記念奨学会委員長 吉田喜一：10月の奨学生卓話について
- 米山記念奨学会委員長 吉田喜一：奨学生卓話に対する謝礼について
- ガバナー早川敬介：地区大会第6回「青少年会議」及び「青少年奉仕活動発表」開催のお知らせ
- 早川ガバナー事務所：地区補助金について
- 早川ガバナー事務所：学友ナイト開催のお知らせ
- 地区大会実行委員会事務局：車の台数調査について
のお願い
- ガバナー 早川敬介、R L I 委員会委員長 佐藤榮郎：ロータリー・リーダーシップ研究会（R L I）第7期パートⅡ開催について（ご案内と登録のお願い）

■各委員会報告

○親睦活動委員会

【結婚記念日】

鳴島三夫会員
十文字宗博会員

【誕生日】

石部辰雄会員、
富永章会員、金田昇会員、長克則会員

山縣栄寿委員



■本日のプログラム

○プログラム委員会

大住由香里委員長



皆さん、こんばんは。プログラム委員会の委員長の大住です。本日、ゲスト卓話ということで、白河第二中学校の村上先生でございます。先生に関しましては、先日CKBの大会の実行委員のメンバーとして来てくださりまして、4人の先生が5分間づつ卓話をしてくださったんですけれども、今月のテーマが識字率向上と基本的教育というテーマでしたので、先生のお話を聞いて、ビビッと来たものがありまして、野球だけではなく、そして勉強だけではなく、その先にあるものを見据えて子供に教育をしてくださってるのかなという思いが感じ取れまして、もっと多く長く先生のお話を聞いてみたいという思いに駆られまして、先生のほうにお願いしたところで快諾いただきました。また、基本的教育だけではなくCKBの報告のほうも吉田充さんのほうからもありましたけれども、また先生からの目線といった形での報告も楽しめるのかなと思ひまして、そちらもお願いしておりますので、先生どうぞよろしく願いいたします。

○白河第二中学校

村上徳信先生



改めまして、こんばんは。白河第二中学校、村上徳信と申します。今日はよろしく願いいたします。まず前置きなんですけれども、私はこんなロータリークラブの方々のような錚々たるメンバーの前で話せるような人間ではございません。本当に何の因果か、この教育というものに携わって今ここに居るのが不思議なくらいの人間でございます。たいした話ではできませんので、取り留めもないお話になると思いますが、ゆっくり聞いたり聞かなかったりしていただければと思います。先程、会長さんのほうからもありましたが、明日からまずは提灯まつりのほうがあるということで、本日白河第二中学校の第一学年は白河市内のフィールド

ワークを行いました。3名から5名の班にそれぞれ学年161名いるんですけれども、分割して小峰城だったり南湖公園だったり、もしかしたら紺色の半そでと短パンの子供たちが歩いてたと思うんですが本当にご迷惑をおかけしてるかもしれないので、本当申し訳ございませんでした。そんな中で、祭りの前日ということで山車があったりとか、そういう中を歩かせていただいて先程なかなか会長さんのほうから神輿の担ぎ手が6年ぶりということなのでいないという話を聞きながら、私も一回参加したことがあるなど、ふと10年前だったと思うんですが、初めて白河の東中学校に赴任しまして、その時に運が良いのか悪いのかこの前一緒に来た青木先生と出会うことになりました。白河に来たからにはこのお祭りに出なければいけないという話をいただいて、騙されてじゃないですけど、それでALTの外国人の先生と私だけ行って、なんか知らないけどもう裸になって、すごいですね、あれね。全然思ったのと違うと思ったんですが、かなり本格的で神輿を担ぎまして、中田町かな、知らず知らずに、揉むって言うんですか、神輿がこうグネグネ、なんか自分の足袋がどこに行ったんだかなんだかよくわかんない状態で、まあお酒も入ってますし、もうすごかったです。最後、川入りますしね。すごい祭りだなと思って、それがもうでも10年前ですから、もう40は超えてたんですね。かなりきつかったのを今でも覚えています。本当にすごい勉強になったというか、私この後話しますが地元がない人間なので、地元のお祭りとか幼馴染とかそういうものが一切ない人間なものですから、青木先生にはまあ後々はきっと感謝するんだろうなと思って、もう10年も経ちましたけどね。ずっと野球でお世話になっています。中学校の教員の仕事だとこの前も言いましたが、やっぱり学校の中だけなので、勤務が代わればほとんどもうお話することもなくなる。会議等で中学生だと中教研と言ひまして、年2回管内の先生が一堂に会すことはあるんですが、会議のほうも教科ごとですし、ほとんど顔を合わせることはないんですけど、やっぱり野球部顧問となると県南の先生とは毎週会うような間柄になっていくので、家族のようにお付き合いをさせてもらっています。そんな中の今回、ロータリーさんの協賛ありがとうございます。CKB大会のほう開催することができました。第11回ということで、8月24日25日の二日間で大会のほうを行わせていただきました。本当に県南の先生方でこうした大会だったので開会式もちょっといろんな顧問の先生がいろんな事をしてみたり歌ってみたり、あまりない大会にはなっています。ただ本当にコロナ過になって開会式とか入場行進というのがめっきりなくなってしまって、生徒たちはあまりそういう経験がないので、

ただやはり彼らは夏は甲子園やっぱり見るので、そうするとやはり入場行進というのは憧れがあるのかな、一回くらいはさせてあげたいなというのもあって、この大会は唯一になりました。県南のチームがすべて集まって入場行進をして、本当昔ながらですけど開会式があると花火が鳴って、そういう本当に大会らしい大会というのをさせていただいております。私たちだけではもう不可能なことなので、皆様のご協力あつての事なので、本当感謝しております。今後もこういう形で末永くお付き合いいただければありがたいかなと思います。先日、その協賛金をいただきにあがった時、4名の教員で先程大住会員さんからお話があったように私も来まして少しお話のほうをさせてもらいました。それでお話をいただいて今日この場に立っているわけなんですけども、白河第二中学校としてもこの後、部活動で総合文化部というのがありまして、そちらのほうに大住様のほうに講師として来ていただくというお話もあったので、来ていただくのに私が断るのもどういふものかというのもありまして、ちょっとえいやっとこのままでやって来た次第です。大会のほうは残念ながら最後まで行くことができませんでした。ベスト4を決めた時点で雨のほうが集中的に降ってまいりまして、本部としてもその後また降ってくる、いろんな悩んだんですけども中止のほう決めました。その後、ロータリーの方々にもご挨拶させていただいて、来ていた時にはちょっと晴れ間もあったりなんかして、ああいうの難しいですよ、中止の決定っていうのは。今までも何回もあるんですが、ああやらしてあげたのになって思う大会もいっぱいあって、うーんいつもこればかりはっていうのは思いますが。ただ、招待校で神奈川からも2校来ているのもあって帰路の段取りもあったので、ちょっと今回はそういう形でベスト4という形で、逗子開成のAチーム、逗子開成のBチーム、あとは西郷一中と白河南中の連合チーム、そして棚倉中学校、この4つがベスト4に残って今回の大会はベスト4までで終了ということにさせていただきました。次回のほうは、最後までしっかりやって優勝旗のほうも私たちのほうで管理させていただいておりますので、また来年やってももらえれば最後までしっかりできるようになればいいかなと思っております。1日目の夜、逗子開成中学校の選手と保護者、あとはもう一つ湘南学園のほうの選手と保護者。逗子開成のほうは選手、保護者合わせて100名、湘南学園のほうは40名の方が来ていただいて、泉崎のカントリービレッジでバーベキューのほうをさせていただきました。青木のほうからこの前お話があったように、本当に福島に来るのはどうなんだというあの震災の後の時期。福島ナンバーの車が止まっていると両隣に車が止まらない

という時期がありましたよね。あの時期からのお付き合いで、それがもう今や140人の保護者の方が来てもらえるというのは、本当にそれだけでもなんか泣けてくるような感じでした。逗子開成、湘南学園共になんですが、学力としてはとても本当にこちらのほうにいると基本的には高校のほうも県立まだ第一主義というところはあるんですが、関東のほうでは私立とかの力がとても強くて、どちらがいいかは別だとは思いますが、逗子開成のこの前も言ったんですが本当に一回目のほうの、その時はまだ140名の方ではなかったんですけども、中学生で僕の夢は東京大学の野球部に入ることですという、そういう中学校3年生がいるというのは衝撃で、やっぱり私もずっと東北なので、そんなこと考えたことはなかったですし、そういう子達と自分達が見ている子達を会わせてあげたかった、そんな世界があるんだよって。なにもそれが正解だ、それを目指せとは言わないけど、そういうものもあるんだよと。視野が広がるのは悪いことではないので、それを選択するかどうかはそれはそれぞれだし、ただそれを知らないよりは知ってた方がいいんじゃないかというので、今回も会わせなかったんですけども、あんまり人が来すぎちゃって、もう他の地区の子が入れなくなってしまう嬉しい悲鳴で。私たちだけ県南の先生たちで行って抽選会をしたり花火を上げたり、お話をさせてもらいました。やっぱり教育に熱心な親御さんたちのお話、また別角度で話をできるのは中央の親御さんとなかなか話すことないので、今回聞いたのは3年間の重さというか、3年私来ているんです。嬉しそうにお酒飲んでいただいて、いろんな差し入れもロータリーさんのほうからもいただいて、日本酒美味しいって飲んでるお母さんだったんですけど、3年間来ました。3年来たから意味がわかりますって仰ってて。1年目は栄先生が行くぞというから、よくわからずついてきた。2年目は、ああこういうものがあるんだなというのをなんとなくわかってついてきた。3年になって子供も理解力が更に増して、どういう経緯があってこの大会をしているのか分かった上で来ることができた。それがとても嬉しいんですって言うてくれて、本当やって良かったなと思えました。教壇だけでは味わえないものなので、野球やって良かったなと思いましたが、これからもやっぱり恩返しをしていきたいな野球は私自身が助けられていますのでしたいなと思って。また、決意を新たに今やっていますが新チームになってまだ1回も勝ててないですけど、是非次ね、今度の木曜日、それこそベスト4になっている西郷一中と南中と練習試合。あと中島中でしたかね。やりますので頑張らせたいなと思っています。そんな私なんですけど、ずっと野球をやってきました、私個人としては、生ま

これは岩手県の旧水沢市という所で生まれました。今でいう奥州市なんですけども、大谷翔平選手の生まれ故郷と同じです。今は地元帰れば本当に日本のスーパースター。まさかね、本当に何もない、あんな所から。でも、この頃岩手良いピッチャーいっぱい出るので、野球に向いてる県だったのかなってこの年になってから出てからですけどね、思うようになったりはしますが、そこで生まれました。全く記憶はないんですけど、父が銀行員だったものですから3年から4年で転校するので、小学校を3つ、中学校2つから教育を受ける段階でまあ私にプラスだった、マイナスもあるんですけど。人より数多くの先生を見ることができたというのは良かったかなとは思いますが。奥州市からまず最初は沿岸に陸前高田市という所があるんですけど、震災で奇跡の一本松なんていうのがニュースで出た所です。そこで小学校1年生まで過ごしました。その後、また沿岸なんですけど山田町という所があります。ここも震災ですごい被害のあった所です。ここで5年生まで小学校過ごしました。両方とも海なので釣りをやったり、授業が終わったらみんなで泳いだり、そんな山があって川があって海があってという所で、その時はそんな震災があるなんて全く想像ももちろんつかずに日々を過ごしてたなあと思います。その後は内陸のほうに行きまして、北のほうに八幡平市という所があるんですけど、青森と秋田にくっついてるぐらいの上のほうで、スキー場だと安比スキー場という所がある所。そこに5年生から中学校2年生までいました。教育としては体育にスキーがあるのでその辺りだと。5年生になって初めてスキーを履いたんですけど、友達はみんなスイスイ滑ってるのでかなり衝撃を受けまして。負けず嫌いなものですから本気で練習して、本当に練習しましたね。勉強よりもやりましたね。本当スキー大会というのがあって、校庭にジャンプ台があるんですよ、小学校なんですけど。もう山があって作ったジャンプ台、あと学校のスキー場もあったんですね、昔ロープ塔と言ってロープがグルグルただ回ってるんですけど、それを決死の思いで掴むんですよ。グーっと上がってって、なんかそういうのでやっていたんですけど。あとは、マラソンじゃなくてクロスカントリー。生徒一本クロスカントリーのスキー別のやつがあったので、その長距離走とかもやったり、そこはでも今になってもやっているの、そういう事でもない限りなかったかな。あとはスキー場がね、ちょうどその結構本当に盛んな安比スキー場の時期だったので、父親がペンを両替とかで銀行員なので回る時に一緒に付いて猛吹雪の中、小銭持って歩いてたのは覚えています。中学校2年生になった時にさてもうそろそろ受験だなと。僕はどこに行けばいいんだろうと思ってる時に、

父親からまた転校だぞと言われて次行ったのが宮城県になっちゃいまして。宮城県のこれまた沿岸で石巻市という所に行くようになりました。中学校3年生で転校したので、行ったとたんに修学旅行でした。だから、誰か知らない人と皆でしかも7クラスくらいあったので、誰か知らない人で全く思い出とかない感じではあるんですけど。その時だけですかね、ちょっと嫌だと言ってもう水沢に戻ってお爺ちゃんの所で水沢高校って当時野球部のユニフォームが赤のヘルメットだったんですけど、ちょっと憧れがありましてそこで野球やりたいんだと言ったんですが、うちの親父は全く聞き入れず、昔ながらの頑固親父なので、家族全員で行かなければいけないと。私、長男なんですけども、下にもう一人弟、1年遅れで弟で、4年遅れでもう一人弟、全員野球やったんですが全員で石巻のほうに行きました。でも、先程から言っているように本当にこの陸前高田市、山田町、石巻市、よくよく本当に何の因果か後々考えれば本当大変な所だったんだなって思います。本当にこれ今はなかなか忙しくて足を運ぶことはできなかったりするんですけど、もう一回行ってみたい。石巻は同級生とかいるので今でもちょっと行ったりはするんですけど。やっぱり人生終えるまでは、もう一回いろいろ見なければいけないんじゃないかなと、そう言われてるんじゃないかなと勝手に思い込んだりはしています。これだけもう転校が多かった中なんですけど、小中。友達是一日でできましたし、それはすべて野球のおかげです。本当にすごいスポーツで、キャッチボールすると友達になれるんですね。ただ教室で座っていたら、そんなに私も今でこそこうやって喋ったりしていますけど、引っ込み思案な子供だったので、今生徒に言ってもえーって言われますが、いやでも本当はそんなに前に前にという子供では正直なかったです。でもやっぱりグラウンドに立てばやれることは決まっていますし、パフォーマンスを出来るやつは出来るので、それは自信はもちろんあって。それだけで友達っていうのは出来たし、一日でそれは自信があったので友人関係で心配をするということは今までで一切正直なかったかなと思います。野球のおかげなんですけど。それも教えてくれたのが父親なので、父親その銀行でノンプロでやってた高校から入ってプロまでは行けなかったですけどノンプロでやってた人間で、本当に小学校の時もコーチとして入っていたので、ずっと厳しく育てられて3人とも野球をやりまして、私は右投げ左打ち、二番目は左投げ左打ち、三番目は右投げ右打ち、もう父親におもちゃのように、しごかれました。結局甲子園には3人とも行けなかったんですけど。でもそこは感謝してるかなと思います。そこでまず一年間だけ中学校生活をして、そのまま高校は石巻の石巻

高校に行ってそこで硬式野球のほうやりました。県立の高校なのでそれほど強くなく、同じ県には当然育英高校ありますし東北高校ありますし、甲子園目指すぞとみんなでは言うんですけど、みんなどこかでやっぱりちょっと難しいだろうなどはやっぱり思いつつも、でもうんって言ってやってた覚えがあります。そういったのがいるので今でもね、石巻には今でも連絡は取っていて、もう50過ぎましたけどまだ会ったりするとその時の試合の話なんかになるので、そこは楽しいかなと思っています。その後、いろいろそこからありまして、教育というかそうですね、そこから浪人生活が2年程ありまして、どうしても行きたい所あったんですけど入れなかったです。3年目に結局親には東京は無理だから金銭的にも難しいからと言って、盛岡住んでたのでその時は戻ってきて盛岡の盛岡大学という所、入りまして教員免許を取りまして人より2年遅れで卒業しまして岩手の教員採用試験受けてみたんですが、全く箸にも棒にもかからず、その当時は水泳があったんですけど私泳げないもんですからもう全然駄目でした。今思えば何で中学高校の教師が水泳があるのか疑問ではあるんですが、多分もうないと思います。その中で普通にもう一個だけ民間で受けたのが、盛岡に支店があった教育会社という触れ込みで受けたんですけども、何のことはない教材売りとかそれがメインの会社だったんですね。その教材に対してのフォローで電話をして指導するというので、免許のある人ってということで全然思ってたのと違うなと思ったんですが。そこからすぐ営業に回されて、今ではあまり存在しない訪問販売というものを経験させてもらいました。教育営業というものです。綺麗などころも汚いところもあるんですが、そこをずっと続けているうちにやっぱり会社のほうでそういう訪問販売がもうなくなるよということで学習塾を起ち上げまして、そちらのほうの今度は運営のほうやっておりました。先程からちょっと話している3.11になるわけですね。その時は郡山の久留米という所で学習塾をやってたんですが、震災が起きまして親会社がここを撤退しました。私だけがその教室に残ったんですが、まあプラスに考えればそのままのその教室自体を自分で引き継いで自営をやりまして3年間自営で学習塾を続けて。でも、やっぱり教育って学習塾よりももっともっと生徒の近くに行ってみたいなって、その時40だったんですがまだちょっと燃えるものがあったので。県中に講師願いを出したらすぐ県南から電話が来まして来てくれということで、東中学校に行ったら青木先生に会って現在に至ると。東中学校に4年東北中学校にも4年かな。今2年目なので教員としてはまだ10年目なのです。しかも、正式採用になったの5年目の時なので、実は私まだ採

用されて教諭5年という新卒の方であればまだ28くらいの人のもなんですけど、こんなもう50も超えてしまっていて、学年主任までさせていただいてなんか本当不思議だなと。震災がなければ多分本当に会社の学習塾をずっと細々とやっていたとは思いますが、そうしたら皆さんと出会うこともきっとなかったと思います。白河にまず来てなかったと思うので。それがまあ震災、悲しいことだし、先程の沿岸の事を考えればそんな軽々しくは言えないんですけど、確実に人生は変わったなと思います。それがまず良いか悪いかはわかりませんが、今こうして家族が笑って過ごしているのは何とか乗り切ったのかなとは思っているし、そこはそうやって出会わせてくれたもの、やっぱり根底には野球があるので教育というよりも野球、感謝をしています。生徒達には、野球は人生のようなもの、人生は野球のようなものということで、昔ながらの感じで伝えていますが、今の子どもも何回も言えば覚えてくれるので。やっぱり一つ一つのプレーを見ると、どんな人なりかわかります。適当な奴はやっぱり適当なプレーをするし、気が抜いた奴はやっぱり授業の中でも気が抜けるんじゃないか。ただ、企業のそれこそ皆さんも本当に人を使う形だと思んですけど、やっぱり野球部でしたと言うと、まだ未だに大丈夫だねって言う人が多いというのは野球はそういうスポーツで、いろんなアンテナを張り巡らして気づきでやっていくものなので、君らはそういう人間にならなければいけないよということは常々言っています。野球をやったのって残念がられるような人間にはならないでね、野球の為にもということも常々言っているんで、これからそういう子どもが本当に白河の未来を担ってくれればいいなと思いつつ、まだこれからまだまだこちらのほうで頑張りたいと思いますので、これからまたいろいろとご迷惑をおかけすることあると思うんですが、今後ともよろしくお願いします。私からは以上です。ご清聴ありがとうございました。

